

陳 情 文 書 表

【平成26年12月定例会議】

受理年月日	受理番号	提出者	付託委員会
平成26年 10月10日	陳情第7号	徳島市北前川町4丁目11-2 徳島健康サポート2F民医連内 徳島県社会保障推進協議会 会長 井上 尚	文教厚生 常任委員会
<p>(件名・要旨)</p> <p>「最低保障年金の実現にむけた検討をはじめよう国に求める」件について</p> <p>【陳情の趣旨】</p> <p>医療・介護の保険料引き上げが相次ぎ、一方で介護サービスも切り下げられ、物価上昇、消費税増税も進んでいる。こうした中で年金引き下げに対する怒りといらだちが広範な高齢者の間に広がっている。</p> <p>ひとり暮らしになることが多い女性の年金は低額で厳しい生活を強いられている。子どもの援助もなく、孤立する高齢者もふえている。孤独死・孤立死のニュースが後を絶たない。</p> <p>老齢基礎年金のみ受給者の平均月額が5万円に満たず、老齢年金受給女性の実に65%が年収100万円未満である。景気回復を図り、年金者の暮らしを守るためには、新たな年金削減は中止すべきであり、むしろ誰もが「暮らせる年金」こそ、目指すべきものである。</p> <p>また、将来の高齢者にとっては、もっと大変である。非正規雇用の割合が全労働者の4割近くにまで上がって、その多くが厚生年金に入れない。国民年金の保険料納率は20代から30代で半数を割っている。将来、無年金や低年金になることが心配される。誰もが老後を暮らせるために最低保障年金制度をつくることが急がれる。</p> <p>このような事態を踏まえて、地方自治法第99条の規定に基づき、次の意見書の採択を貴議会にお願い申し上げるものである。</p> <p>【陳情事項】</p> <p>「最低保障年金制度の実現にむけた検討をはじめよう求める意見書」を採択すること。</p>			